



# いいこっつお

教育長のつばやき

No.104

2025, 10/6

## 保育園も大きな変化が

先週末は、北信保育園の運動会が栄小学校の体育館で行なわれました。昨年も雨の心配があり体育館で実施しましたが、あの人数と今年小学校が中学に移動している関係で使い放題という理由から、校庭よりは良い選択だったと思います。

さて、小中学校の様々な行事や取り組みが大きく変わっている中で、保育園も同じような考え方や流れで変化してもらう必要があります。村校長会でもそんな話をしましたが、保育園にもその波が届き、大きく変化した運動会でした。

園長先生のお話によると、子どもたちに「**今年はどんな運動会にしたい？**」と直接聞いていただいたようです。春に行なわれた小中学校の運動会を観ていた園児も多いので、「**おうちの人と一緒に走ったり動いたりしたいな！**」という願いが子どもたちから聞かれたようです。そこで先生方も様々なアイディアを出し合い、子どもの種目だけでなく、子どもたちの種目に保護者の方も一緒に参加していただく運動会を考えたとのことでした。

おかげで例年より保護者と一緒の種目も増え、大変な盛り上がりを見せてくれました。

完成形を見せるのではなく、過程で良いので…という小中にも通じる基本の考え方を保育園でも取り入れていただいたようで、「**見せる運動会**」から「**親子で楽しむ運動会**」に大きくシフトチェンジがなされていました。子どもたちの笑顔も保護者や祖父母の笑顔も例年以上に多く見られました。保護者の皆さんは翌日筋肉痛の心配もあったかもしれませんが、一生懸命子どもと一緒に楽しみながら運動してくださった姿が大変印象的でした。

また、伝統文化を取り入れた「**才鳥舞と獅子舞**」も行われ、保護者や先生、地域の方も入って祭りの本番さながらの太鼓と笛で子どもたちをバックアップしてくれた演技も今までになかっただけに大変新鮮であり、手作りの獅子頭も見事な出来で拍手喝采でした。

保小連携は接続期カリキュラムなども当然重要ですし、やま保育からのつながりも大切にしたいところですが、こうした行事にも先生方が目を向けて変化をもたらしてくれたことに感謝です。



素晴らしい運動会になりました。来年にも期待しましょう！

(余りに素晴らしすぎて、撮影枚数ものしたため、私のカメラレンズの AF 機能が故障し、レンズが使い物にならなくなるほどの運動会でした。さて…村の文化祭もあるし、秋の風景写真の季節でもあるし…。レンズどうしましょうか…。)

